

スーパー GT 開幕戦

2年連続で ADVAN レーシングタイヤ装着車が 2 クラス制覇

横浜ゴム（株）（社長：南雲忠信）の ADVAN レーシングタイヤを装着した KONDO Racing（監督：近藤真彦）の HIS ADVAN KONDO GT-R が、3月21日（日）に鈴鹿サーキットで開催されたスーパー GT 開幕戦 GT500 クラスで優勝し、開幕戦 2 連覇を成し遂げた。また、300 クラスでも RE 雨宮レーシング（監督：雨宮勇美）の M7 MUTIARA MOTORS 雨宮 SGC 7 が勝利。2 年連続で ADVAN レーシングタイヤ装着車が表彰台トップを独占した。

決勝当日は黄砂交じりの強風、時おり降る雨、予想外の低温路面でクラッシュやコースアウトが続出する大荒れの展開となった。予選のクラッシュで 10 番手からのスタートとなった HIS ADVAN KONDO GT-R は、1 番手の J・P・デ・オリベイラ選手が丁寧かつハイペースな走行を続け 25 周目でトップを奪取し 34 周を終えてピットイン。この時、ADVAN レーシングタイヤの耐摩耗性の高さを活かしたタイヤ無交換作戦を取行。これにより 2 位に 20 秒近いタイム差をつける。トップでバトンを受け取った安田裕信選手は、タイム差をうまく利用した落ち着いた走りでも 10 番手スタートから劇的な勝利をあげた。

300 クラスの M7 MUTIARA MOTORS 雨宮 SGC 7（谷口信輝選手）は、ポールスタートからコースアウトにより一時ポジションをダウンするが、常にトップグループを走り続け 25 周終了でピットイン。同じくタイヤ無交換作戦でトップを奪う。2 番手の折目遼選手は安定したラップを刻みながら走り続け、そのままチェッカーフラッグを受けた。なお、300 クラスは 1 位から 5 位までを ADVAN レーシングタイヤ装着車が独占した。

スーパー GT は日本で最も人気の高い自動車レースシリーズで、カーメーカーのワークスチームも参戦し毎戦ハイレベルなレースが展開される。市販車をベースに改造したレース専用マシンが使用され、約 500 馬力の GT500 クラスと約 300 馬力の GT300 クラスの 2 クラスが混走して両クラスで優勝を競う。



GT500 クラスで優勝した HIS ADVAN KONDO GT-R



表彰台トップを獲得した J・P・デ・オリベイラ選手（左）と安田裕信選手



開幕戦 2 連覇でガッツポーズする近藤真彦監督（中央）と J・P・デ・オリベイラ選手（左）、安田裕信選手

このリリースに関するお問い合わせ先

横浜ゴム（株） 広報部

TEL : 03-5400-4531 FAX : 03-5400-4570

横浜ゴム株式会社 広報部 広報・IR グループ

〒105-8685 東京都港区新橋 5 丁目 36 番 11 号 TEL:(03) 5400-4531 FAX:(03) 5400-4570

THE YOKOHAMA RUBBER CO., LTD. CORPORATE COMMUNICATIONS DEPT.

36-11, Shimbashi 5-chome, Minato-ku, Tokyo 105-8685, Japan Telephone: 81-3-5400-4531 Facsimile: 81-3-5400-4570